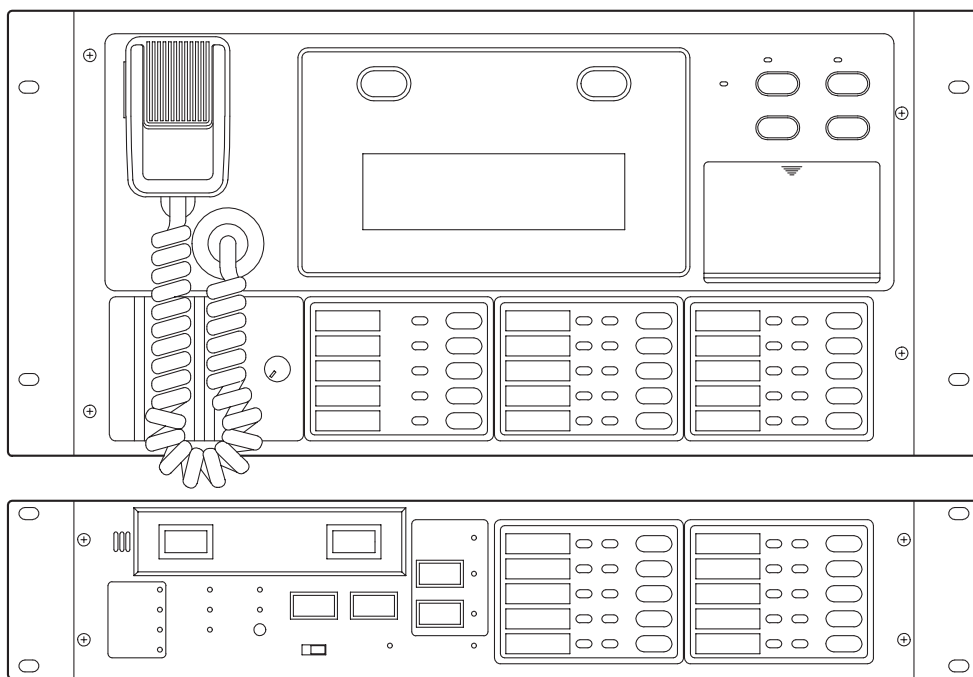


非常業務兼用遠隔操作器 多棟型集中監視システム

型名 RM-975



この設置要領は、各種機能を備えた標準セットを基準として作成していますので、実装されていないユニットが記載されていることがあります。あらかじめご了承ください。

目 次

保守契約のおすすめ	2
安全上のご注意	3
使用上のご注意	4
RM-975 システムの概要	5
機器構成	
構成機器一覧	6
外観図	6
付属品一覧	7
布線図	12
ケーブル一覧	14
接続	
各機器の接続	15
本体ラック (FS-971) との接続上の注意点	17
DS-029R の台数	18
組立方法	18
接続例	
接続例 1 (2 棟の場合)	20
接続例 2 (3 棟の場合)	23
設定	
設定の必要な機種と設定内容	26
EP-059R の設定	26
EP-021R の設定	28
EP-029 の設定	29
動作の確認	
電源の投入	30
動作の確認	31

保守契約のおすすめ

- 非常用放送設備の保守点検は、消防法で義務づけられています。自ら点検できないお客様に代って専門技術者が契約によって定期点検を行います。
- 保守契約は設置時に納入業者にお申しつけくださるのが便利です。すでに設置済であるにもかかわらず契約されていないお客様はお急ぎください。
- 保守契約には設備予算以外に費用がかかりますので、別途計上してください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

● 図記号について

注意を促す記号	行為を禁止する記号	
		
注 意	禁 止	分解禁止

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 音が出ないとき



注 意

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用するとき

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

内部に異物を入れない

本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。



禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。



禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

設置場所に注意

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。



禁止

使用上のご注意

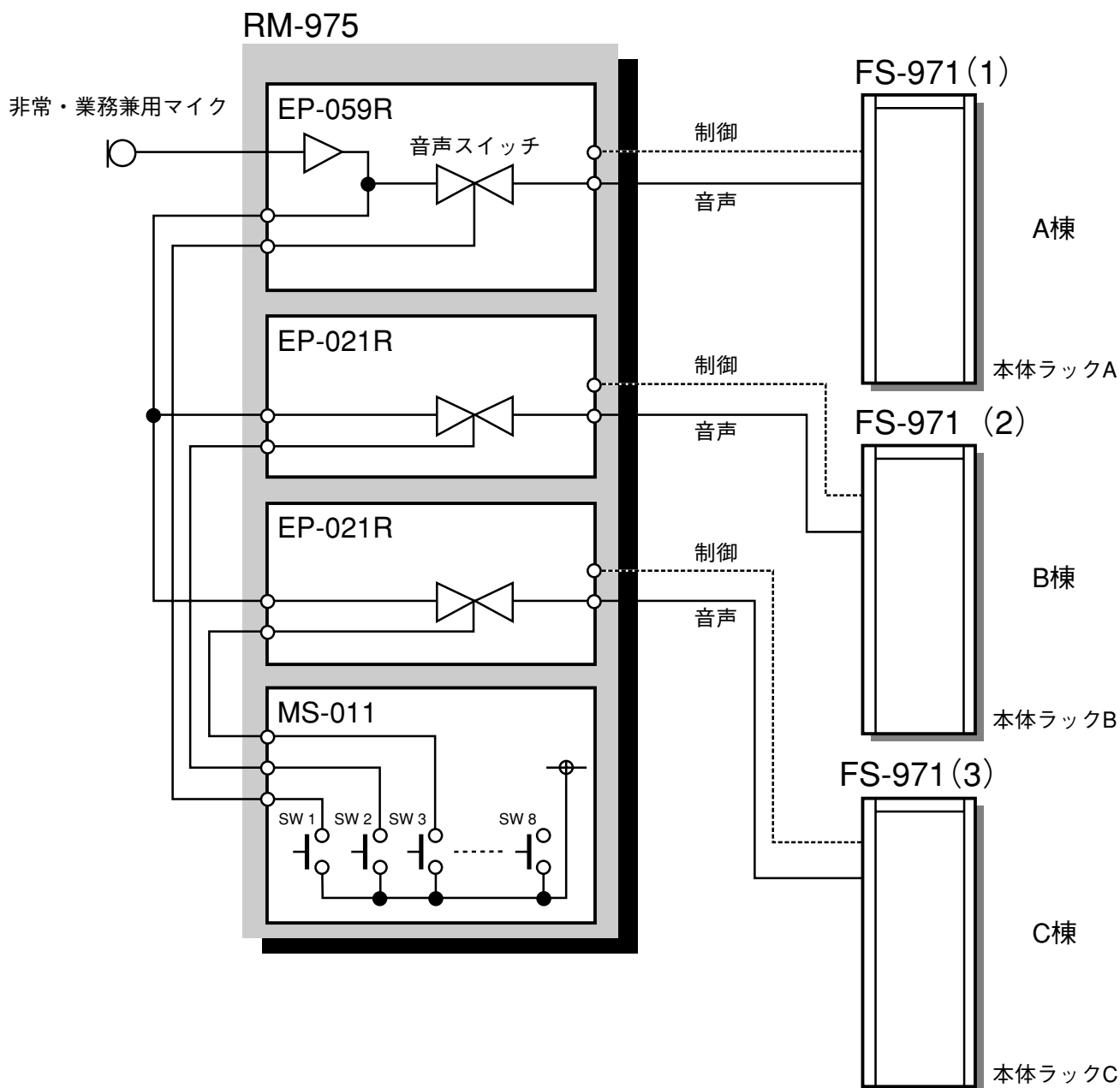
汚れは柔らかい布で軽くふいてください。

シンナーやベンジン、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。

変形や変色することがあります。

RM-975 システムの概要

- 多棟型集中監視システム RM-975 は、最大 8 カ所の防火対象物への操作が 1 カ所で制御できる非常・業務兼用遠隔操作器です。
- 制御できる最大局数は、各操作パネル (EP-059R, EP-021R, EP-029-10, EP-029-20) の放送階選択スイッチの合計数で 400 局です。
- 放送階選択スイッチ、作動灯等は各棟に独立して操作、表示されます。



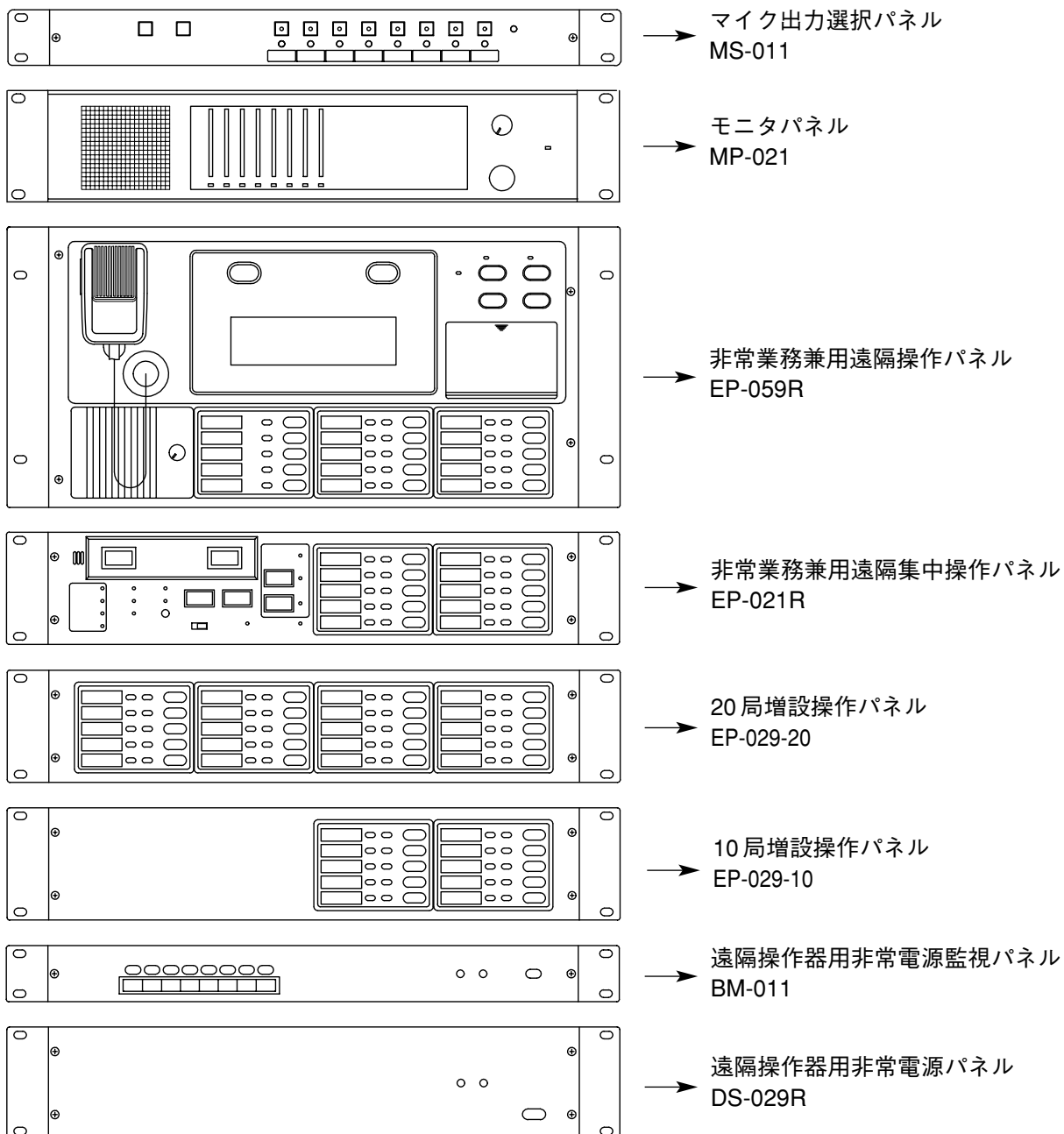
機器構成

構成機器一覧

品名	マイク出力 選択パネル	モニタパネル	非常業務兼用 遠隔操作パネル	非常業務兼用 遠隔集中操作パネル	増設 操作パネル	遠隔操作器用 非常電源監視パネル	遠隔操作器用 非常電源パネル
品番	MS-011	MP-021	EP-059R	EP-021R	EP-029-10/-20	BM-011	DS-029R
構成数	1	1	1	防火対象物の数－1 (最大7台)	必要数 制御する局数による	必要数*	必要数 P.18 参照

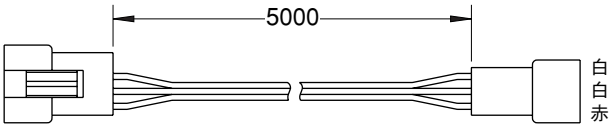
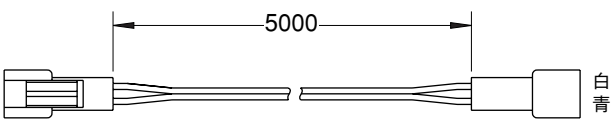
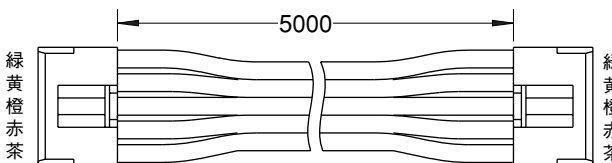
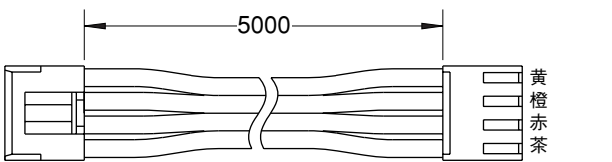
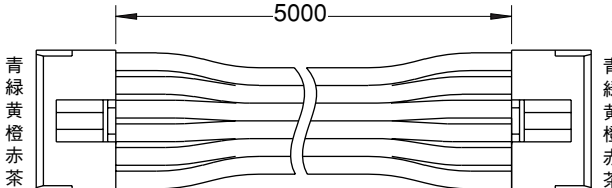
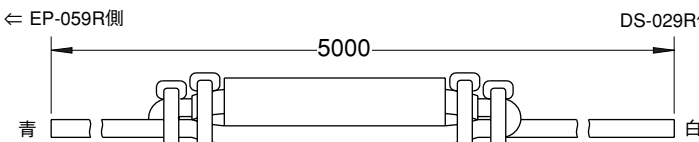
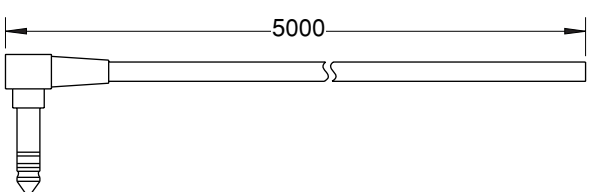
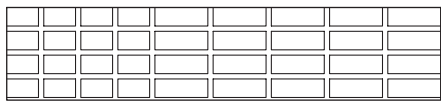
* 本体ラックの DS-029 の数による。1 台の BM-011 で監視できる DS-029 の数は 8 台まで。

外観図

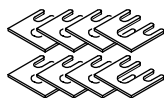


■ 付属品一覧

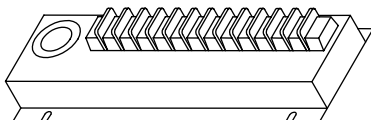
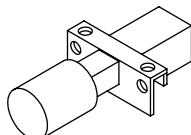
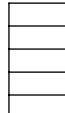
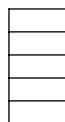
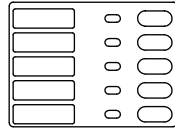
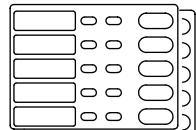
● マイク出力選択パネル MS-011

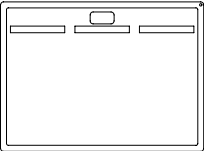
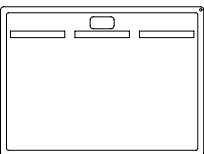
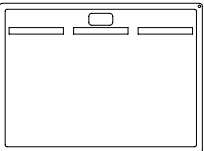
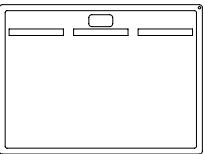
部 品 名	外 観	員 数
1. マイクパネル制御 コネクタ1ケーブル		7
2. マイクパネル制御 コネクタ2ケーブル		1
3. MS-EP059R 間制御 コネクタケーブル		1
4. MS-EP 間電源 コネクタケーブル		1
5. EP-EP 間制御 コネクタケーブル		1
6. ダイオード付コード		1
7. 音声コード		1
8. 書き込み銘板		1
9. ラックマウントねじ		4

● モニタパネル MP-021

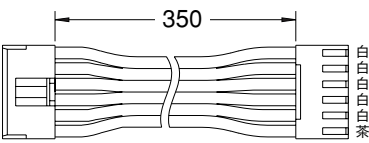
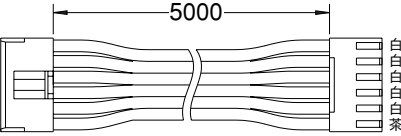
部 品 名	外 観	員 数
1. ショートピース		8
2. ラックマウントねじ		4

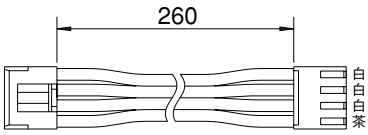
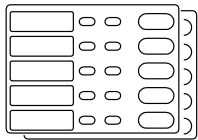
● 非常業務兼用遠隔操作パネル EP-059R

部 品 名	外 観	員 数
1. 端子ユニット		1
2. チャイムスイッチ		1
3. 注意ラベル		1
4. 型番ラベル		1
5. 型番ラベル（新）		1
6. 記名カード（1）		1
7. 記名カード（2）		2

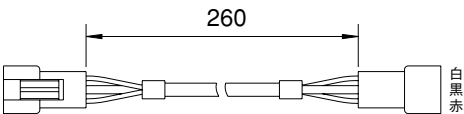
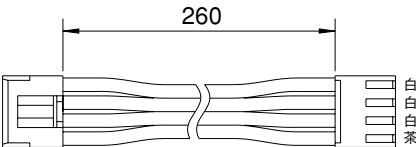
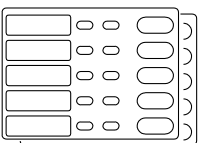
部 品 名	外 観	員 数
8. RM-970 シリーズ 取扱説明書		1
9. 安全注意冊子		1
10. EP-059 非常時の 操作手順書 1		1
11. EP-059 非常時の 操作手順書 2		1
12. EP-0510 非常時の 操作手順書 1		1
13. EP-0510 非常時の 操作手順書 2		1
14. ラックマウントねじ		4

● 非常業務兼用遠隔集中操作パネル EP-021R

部 品 名	外 観	員 数
1. EP-EP 間制御 コネクタケーブル		1
2. EP-EP 間制御 コネクタケーブル (5m)		1

部 品 名	外 観	員 数
3. EP-EP 間電源 コネクタケーブル		1
4. 記名カード		2
5. ヒューズ (2A)		1
6. ラックマウントねじ		4

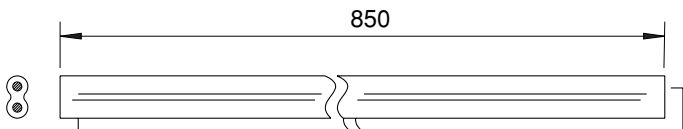
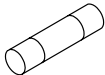
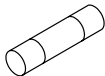
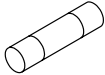
● 増設操作パネル10局／20局 EP-029-10/-20

部 品 名	外 観	員 数
1. EP-EP 間制御 コネクタケーブル		1
2. EP-EP 間電源 コネクタケーブル		1
3. 記名カード		2
4. ラックマウントねじ		4

● 遠隔操作器用非常電源監視パネル BM-011

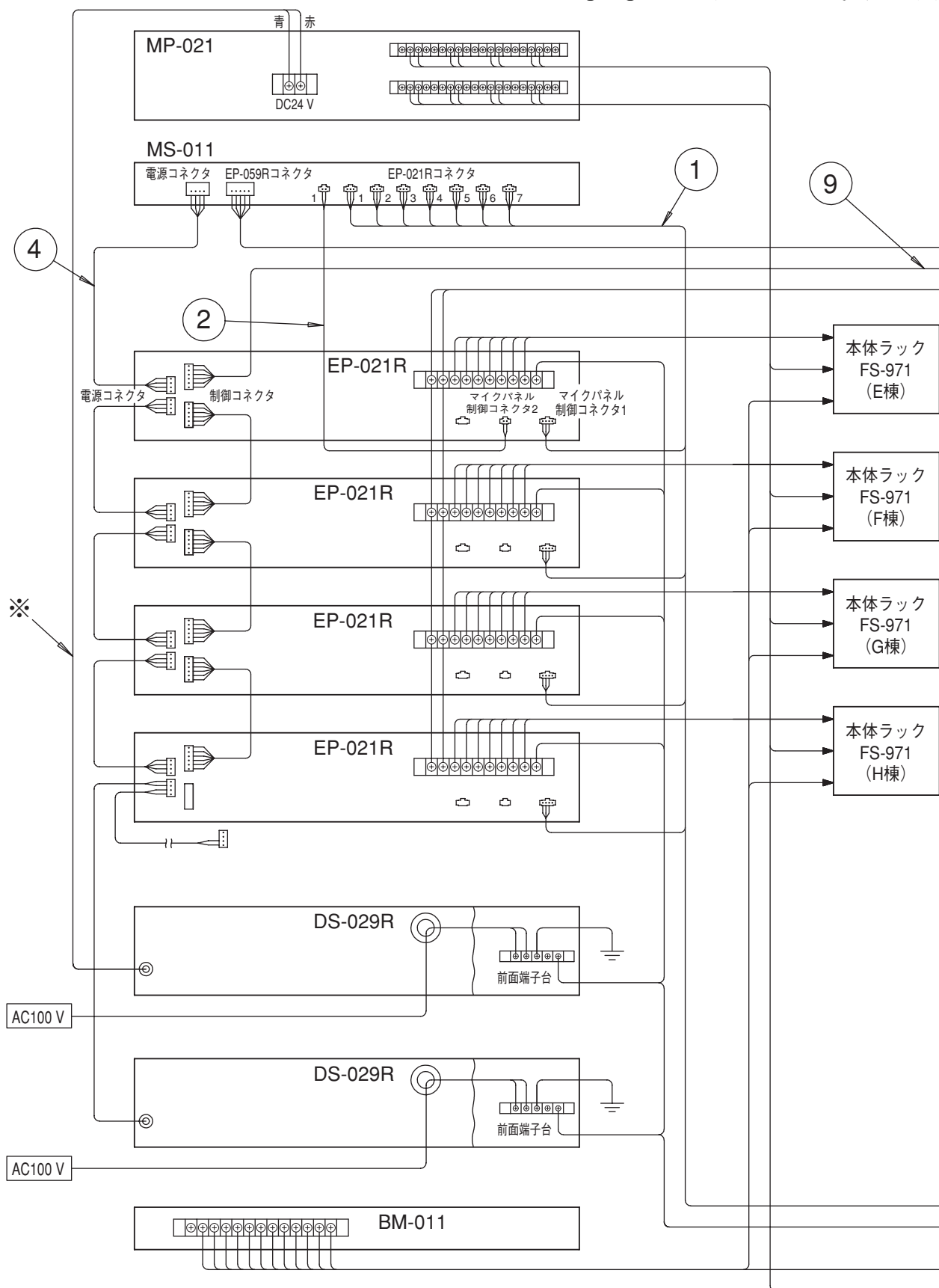
部 品 名	外 観	員 数
1. 記名カード		1
2. ラックマウントねじ		4

● 遠隔操作器用非常電源パネル DS-029R

部 品 名	外 観	員 数
1. 平行ビニル線 (白／青)		2
2. ヒューズ (0.2A)		1
3. ヒューズ (1A)		1
4. ヒューズ (2A)		1
5. ラックマウントねじ		4

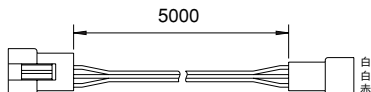
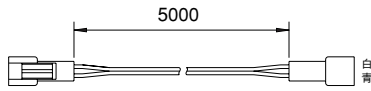
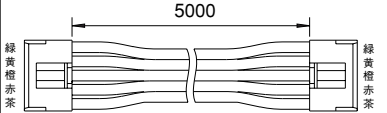
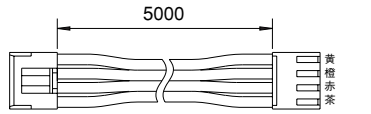
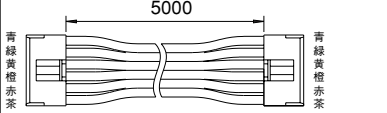
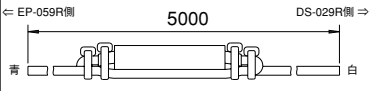
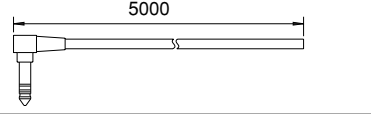
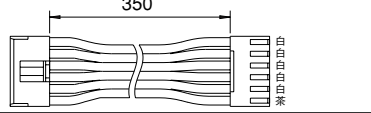
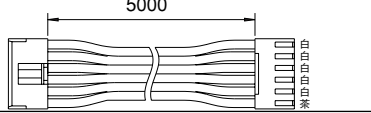
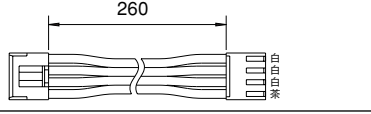
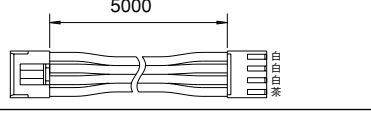
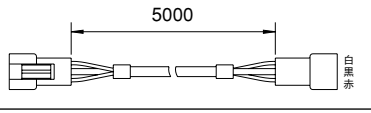
布線図

①～⑩は、付属ケーブルです。(P.14 参照)



※…DS-029Rの電源線の中継コネクタ(4P)の手前で切断して接続してください。

ケーブル一覧

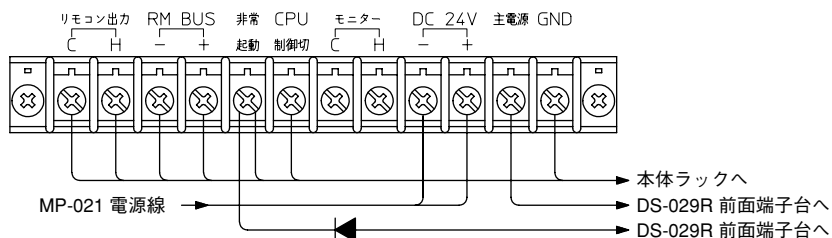
番号	コネクタケーブル形態	使用本数	使用場所	付属している製品
①		EP-021R の台数分	EP-021R : マイクパネル制御コネクタ 1(4P) └ MS-011 : EP-021R コネクタ(3P)	MS-011
②		1	任意の EP-021R : マイクパネル制御コネクタ 2(2P) └ MS-011 : EP-021R コネクタ(2P)	MS-011
③		1	EP-059R : マイクパネルコネクタ(5P) └ MS-011 : EP-059R コネクタ(5P)	MS-011
④		1	EP-059R/021R/029 : 電源コネクタ(4P) └ MS-011 : 電源コネクタ(4P)	MS-011
⑤		1	EP-059R : EP-021R コネクタ(6P) └ 1 台目の EP-021R : 制御コネクタ(6P)	MS-011
⑥		1	EP-059R : 端子盤の非常起動端子 └ 任意の DS-029R : 前面端子台の非常起動端子	MS-011
⑦		1	EP-059R : 非常マイク出力ジャック └ EP-021R : 端子台のマイク入力端子(C/H)	MS-011
⑧		必要分	EP-021R : 制御コネクタ同士(6P)	EP-021R
⑨		必要分	EP-021R : 制御コネクタ同士(6P) ※ ⑧では長さが不足する場合に使用する	EP-021R
⑩		必要分	EP-021R : 電源コネクタ同士(4P)	EP-021R
⑪		必要分	EP-021R : 電源コネクタ同士(4P) ※ ⑩では長さが不足する場合に使用する	YR-932 (EP-029 ラック間コード)
⑫		必要分	EP-029 : 制御コネクタ同士(3P) ※ EP-029 の付属品(l=260)では長さが不足する場合に使用する	YR-932
⑬		1 ※ システムにより不要な 場合もあります	任意の EP-059R/029/021R : 電源コネクタ(4P) └ MP-021 : 端子台(2P)	YR-931 (EP-AD コード)

- その他の使用するコネクタ付ケーブルは各パネル（EP-059R, EP-029, DS-029R）に付属されているものを使用します。
- 上記以外のケーブル（耐熱電線、2心シールド線等）は別途ご用意ください。
- YR-931、YR-932 は別途ご購入ください。

接 続

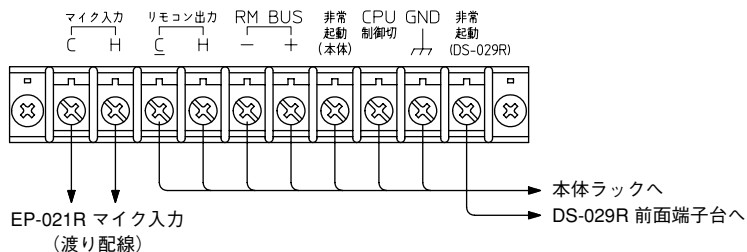
各機器の接続

● EP-059R 端子台配線図



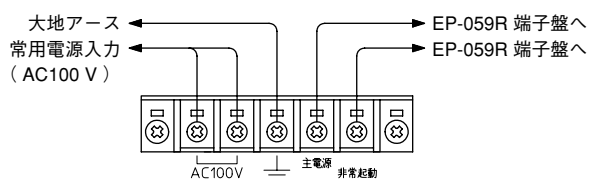
* システム内で任意の1台だけ接続します。

● EP-021R 端子台配線図

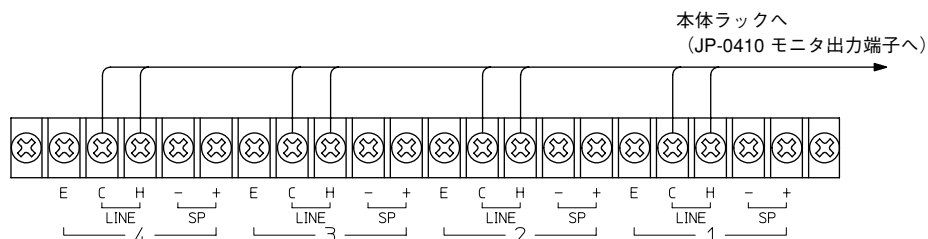


* CPU 制御切の接続は必ず EP-059R とその本体、EP-021R とその本体の間のみとし、EP-059R と EP-021R 間の接続は行わないでください。

● DS-029R 前面端子台配線図

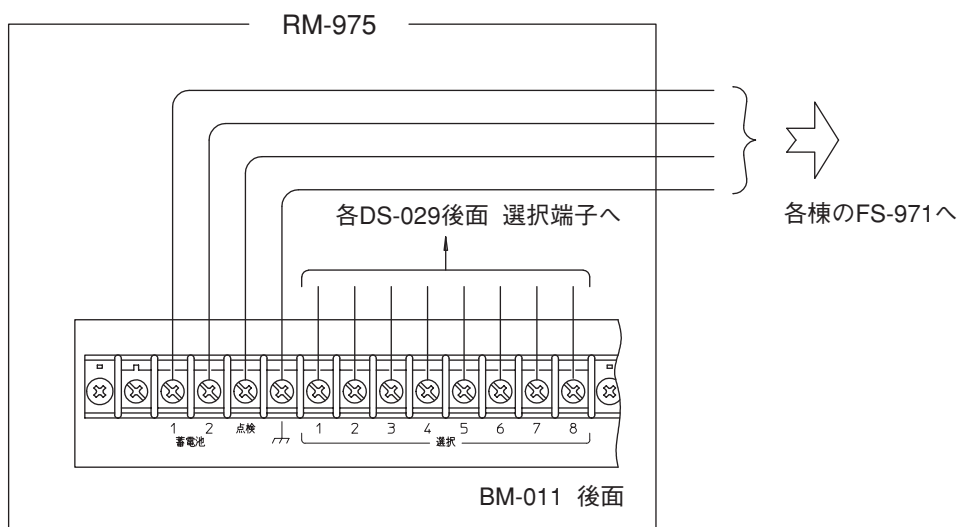


● MP-021 端子台配線図

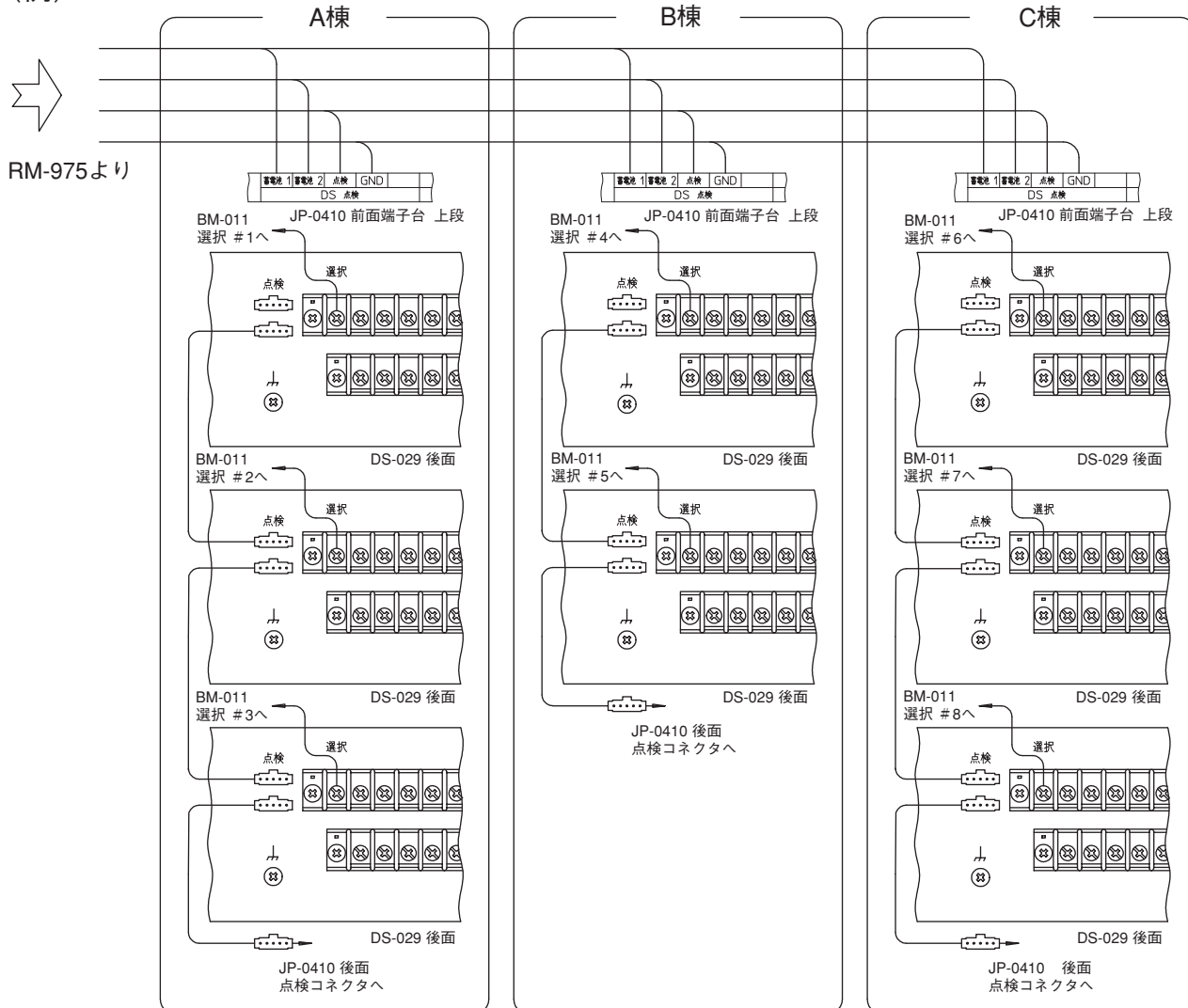


※ 本図は端子番号1～4の例を表しています。端子番号5～8も同様に配線します。

● BM-011 の配線図

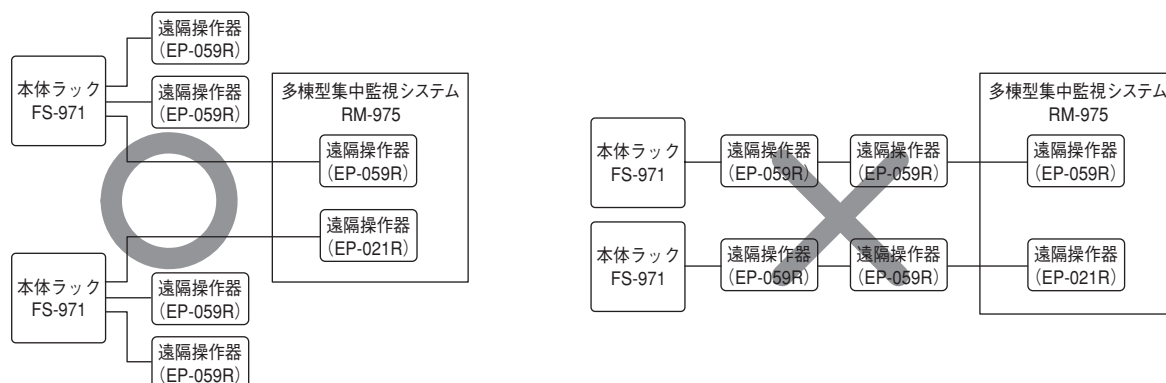


(例)

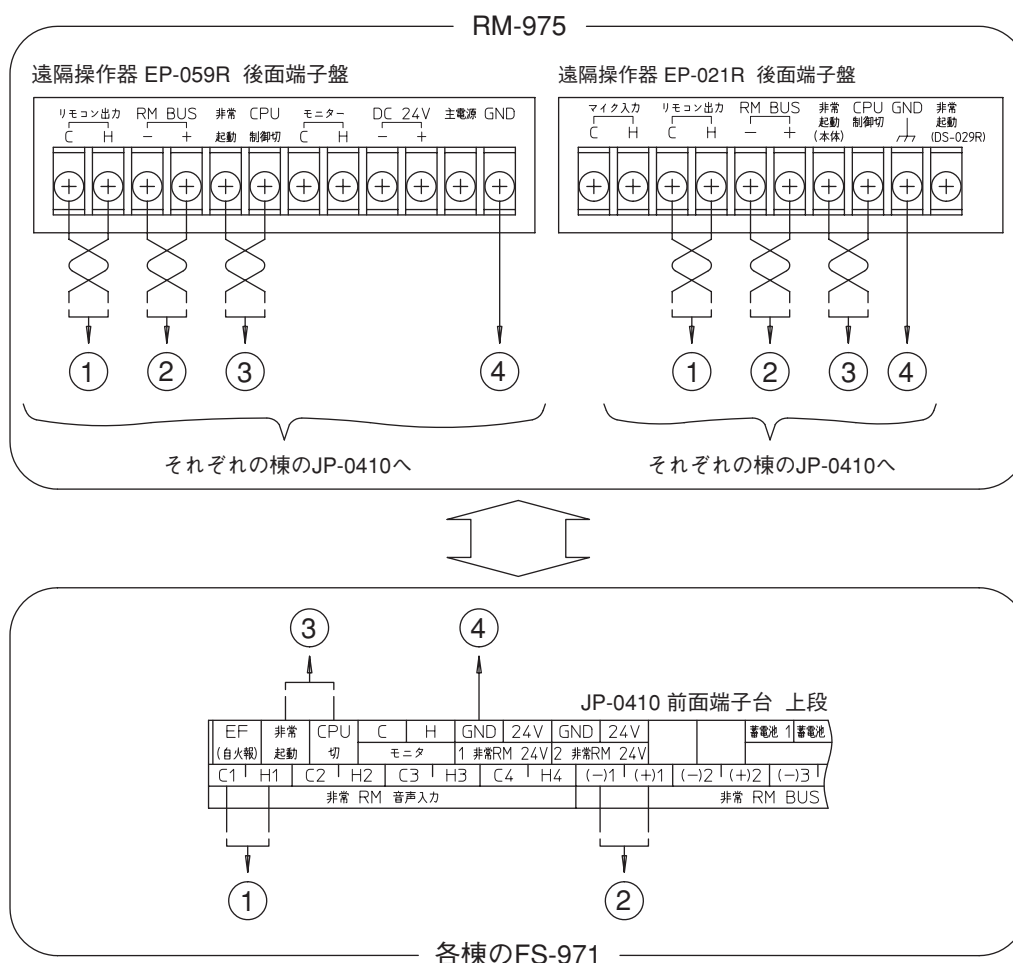


■ 本体ラック (FS-971) との接続上の注意点

- 接続にはしゃへい付耐熱対より形ケーブルを使用してください。
- 接続は各本体ラックのジャンクションパネル JP-0410 の前面端子台と対応する遠隔操作器 (EP-059R, EP-021R) の後面端子盤間で行ないます。
- 本体ラックと遠隔操作器間の接続最長距離は 800m です。
- 使用するケーブルの最大線路抵抗は以下のとおりです。
電源線 (1 対) : 5 Ω 以下、制御線 (4 対) : 50 Ω 以下
- 各本体ラックに接続する遠隔操作器が複数台になるときは、接続線の分岐は必ず本体側で行なってください。



- 遠隔操作器は 1 つの本体ラックに対し 8 台まで接続できます。
- 接続図



※ 1 つの本体ラックと複数台の遠隔操作器との接続については、EP-059R に付属している取扱説明書の「端子盤ユニットと本体ラック JP-0410 の接続」の項を参照してください。

■ DS-029R の台数

DS-029R の DC24V 最大出力電流は 1100 mA です。
構成機器により必要な台数が決まります。

各機器の消費電流

品番	MS-011	MP-021	EP-059R	EP-021R	EP-029-10	EP-029-20
1 台当りの消費電流	250mA	最大 950mA	300mA	200mA	100mA	180mA

上記の構成機器は、DS-029R からの電源供給で動作します。

※ MP-021 は防火対象物の数 (MP-021 で表示する出力レベルの数) により消費電流が異なります。

防火対象物の数	2	3	4	5	6	7	8
消費電流	650mA	700mA	750mA	800mA	850mA	900mA	950mA

DS-029R から電源供給する構成機器の消費電流の合計が 1100mA を超えないようにしてください。
1100mA を超える場合は複数台の DS-029R が必要となります。

(例) ページ 23 接続例 2 の場合は

MS-011 × 1 : 250mA	MP-021 × 1 : 700mA	EP-021R × 1 : 200mA
EP-059R × 1 : 300mA	EP-021R × 1 : 200mA	EP-029-20 × 4 : 720mA
EP-029-20 × 3 : 540mA	EP-029-20 × 4 : 720mA	
合計 1090mA (DS-029R 1 台で供給可)	1620mA (DS-029R 2 台で供給可)	920mA (DS-029R 1 台で供給可)

従って、この例では DS-029R の必要数は合計 4 台となります。

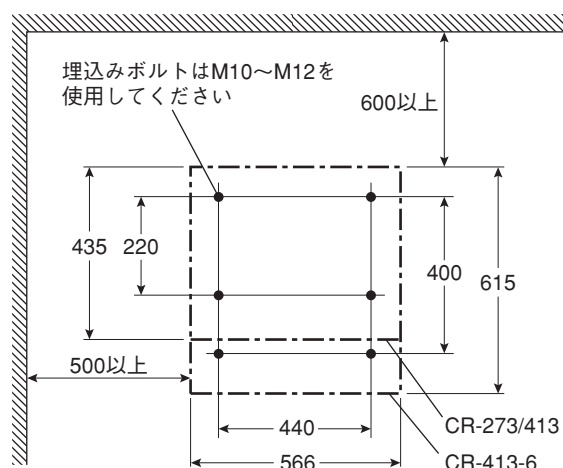
組立方法

■ アンカーボルトの埋め込み

キャビネットラック CR-413 / CR-273 は、アンカーボルトで固定することができます。

キャビネットラックを固定する場合は右図の位置に埋込ボルトを設けてください。

ラックの後面および側面は保守点検を容易にするため後面は壁面から 600mm 以上、側面は 500mm 以上離して設置してください。

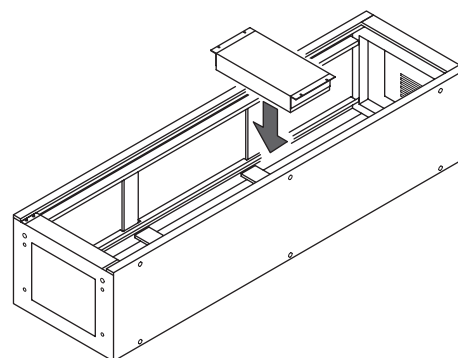


■ キャビネットラックの組立

キャビネットラックに付属の取扱説明書に従って組み立ててください。

■ 各パネルユニットの組込み

パネルユニットを取り付ける場合、キャビネットラックの前面を上にして、寝かせて行なってください。



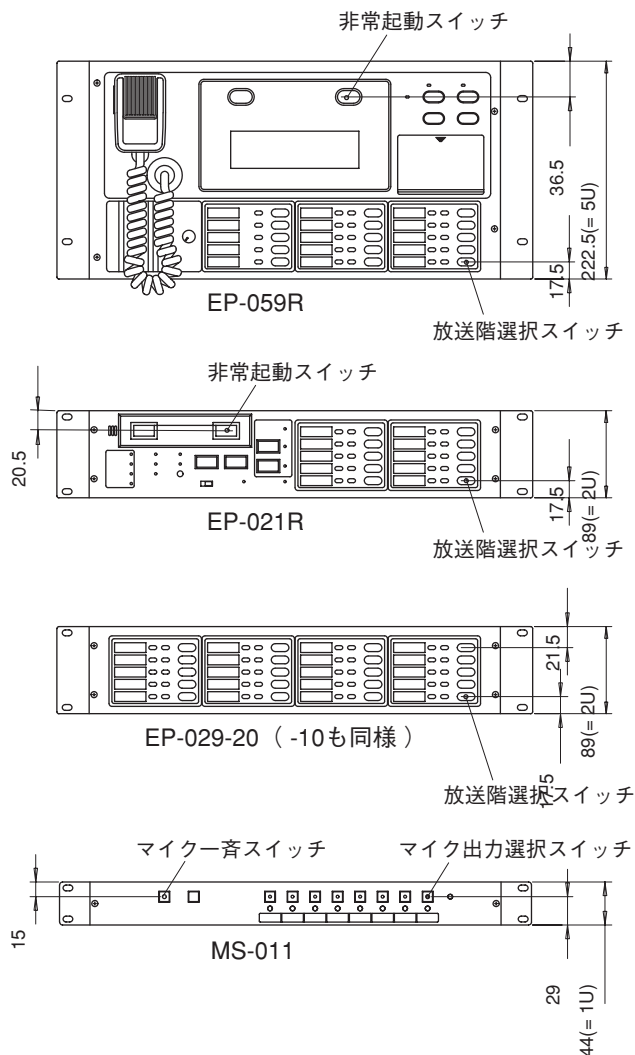
■ 各操作パネルの操作スイッチの位置（上下方向）

操作パネル（EP-059R, EP-021R, EP-029）およびマイク出力選択パネルMS-011の取付位置は、それぞれの操作スイッチの中心が床上0.8m以上1.5m以下になるようにしてください。

CR-273：上から 1～6 サイズの間
CR-413：上から 10～24 サイズの間
(下から 18～32 サイズの間)

各パネルをキャビネットラックに取り付けるには各機器に付属している、ねじおよびワッシャを使用してください。

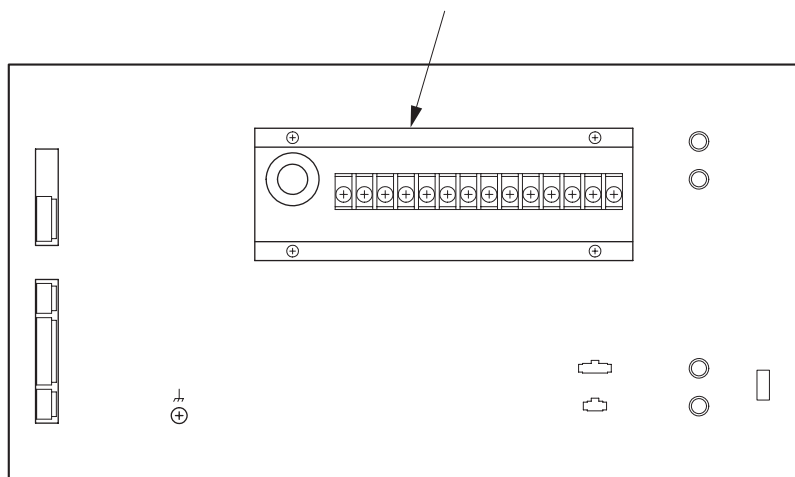
また、キャビネットラック以外のフレーム等に取り付けるには呼び径5mmのねじを用い、ねじピッチはEIA規格：EIA-310-Cの19"パネルユニバーサル間隔（約465mm）としてください。



■ 端子ユニットの組み込み

EP-059Rに付属している端子ユニットはEP-059Rの後面に取り付けてください（下図参照）
取り付けには、付属のねじ（タッピンねじ 3×8、4本）を使用してください。

端子ユニット（EP-059Rに付属）取付位置



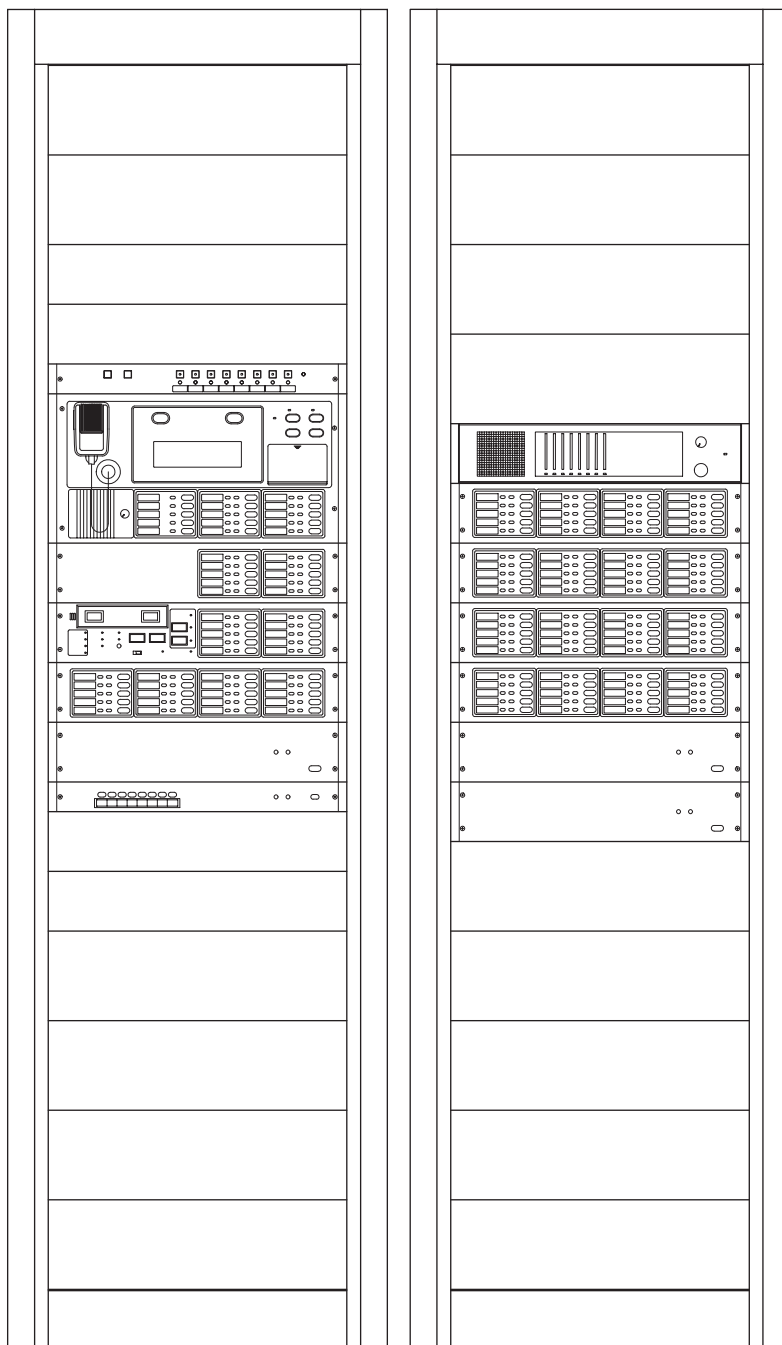
（EP-059R 後面）

接続例

RM-975 型 多棟型集中監視システムで2棟（2つの防火対象物：接続例1） および3棟（3つの防火対象物：接続例2）を制御するときの接続例を示します。

■ 接続例1（2棟の場合）

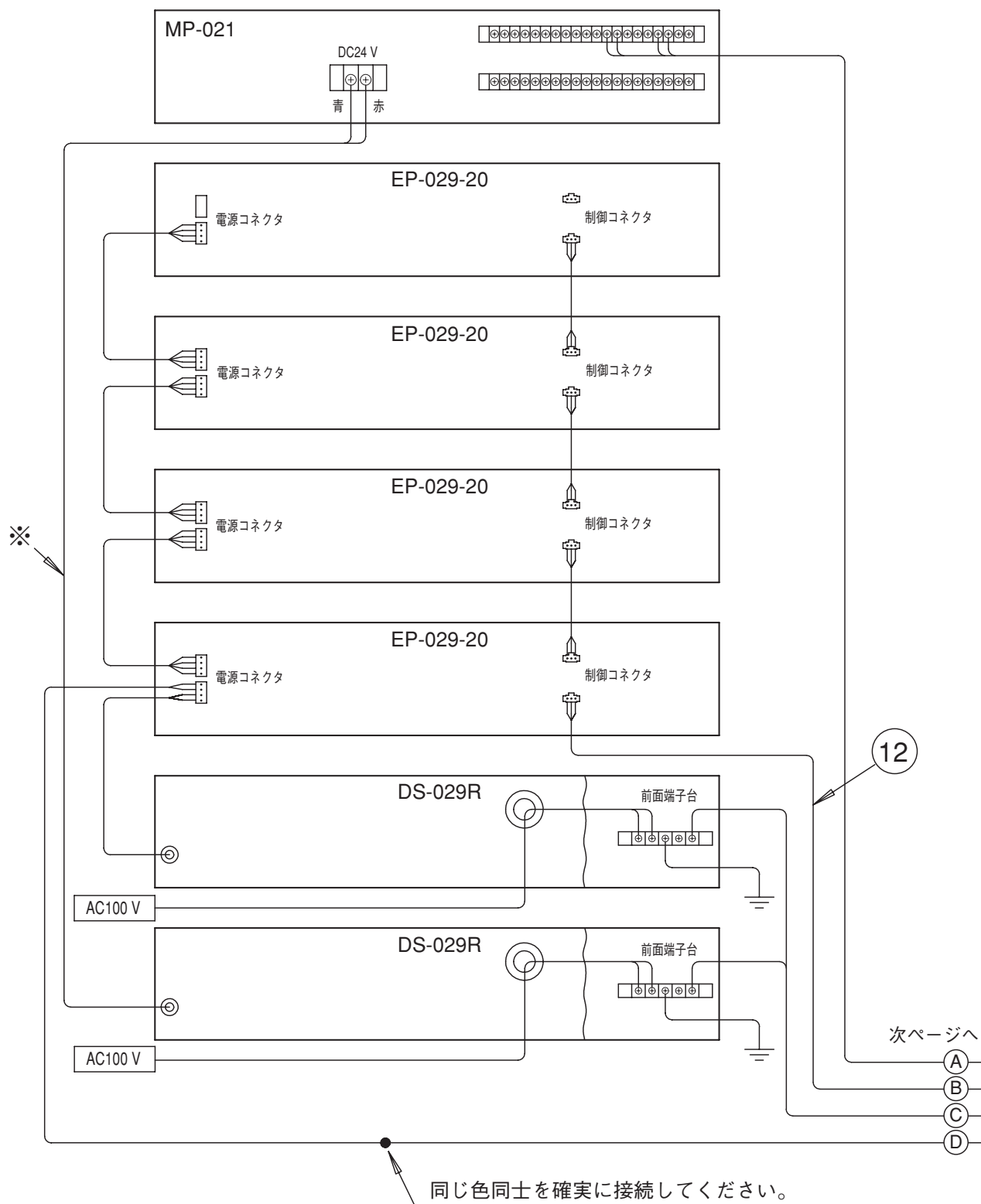
● 外観



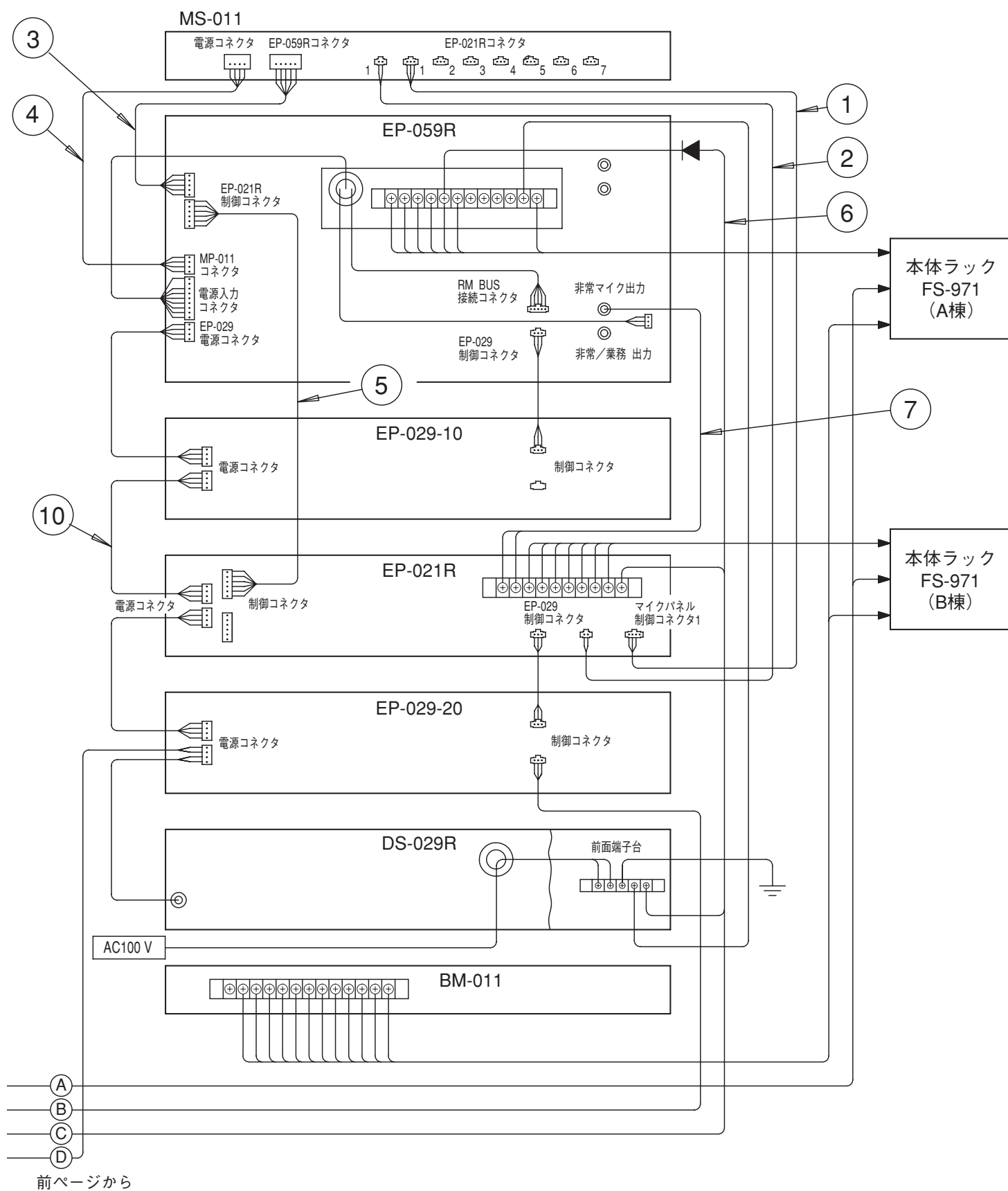
● 接続

①～⑦と⑩は、付属ケーブルです。(P.14 参照)

⑫は、別売ケーブルです。

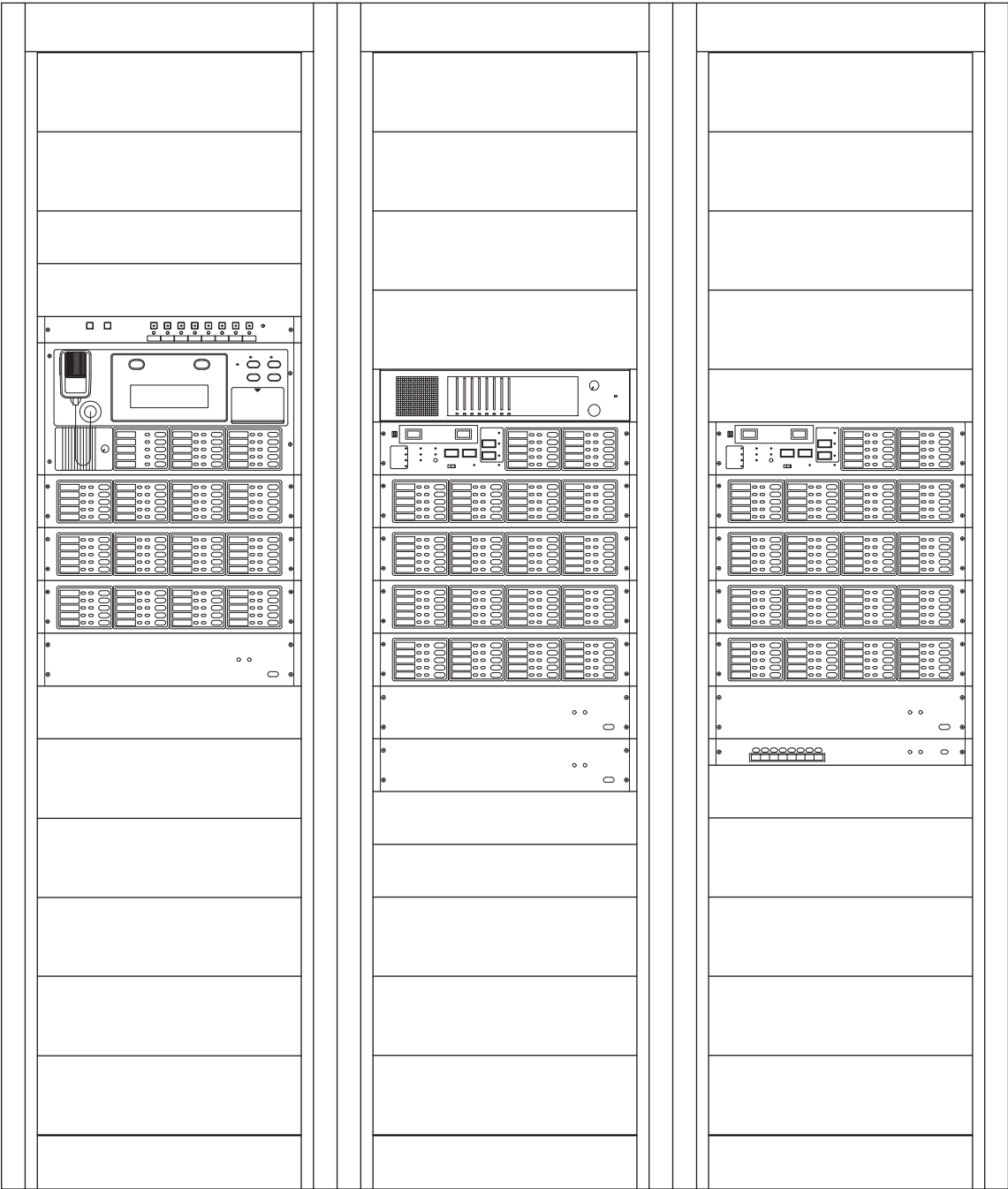


※ DS-029R の電源線を中継コネクタ (4P) の手前で切断して接続してください。



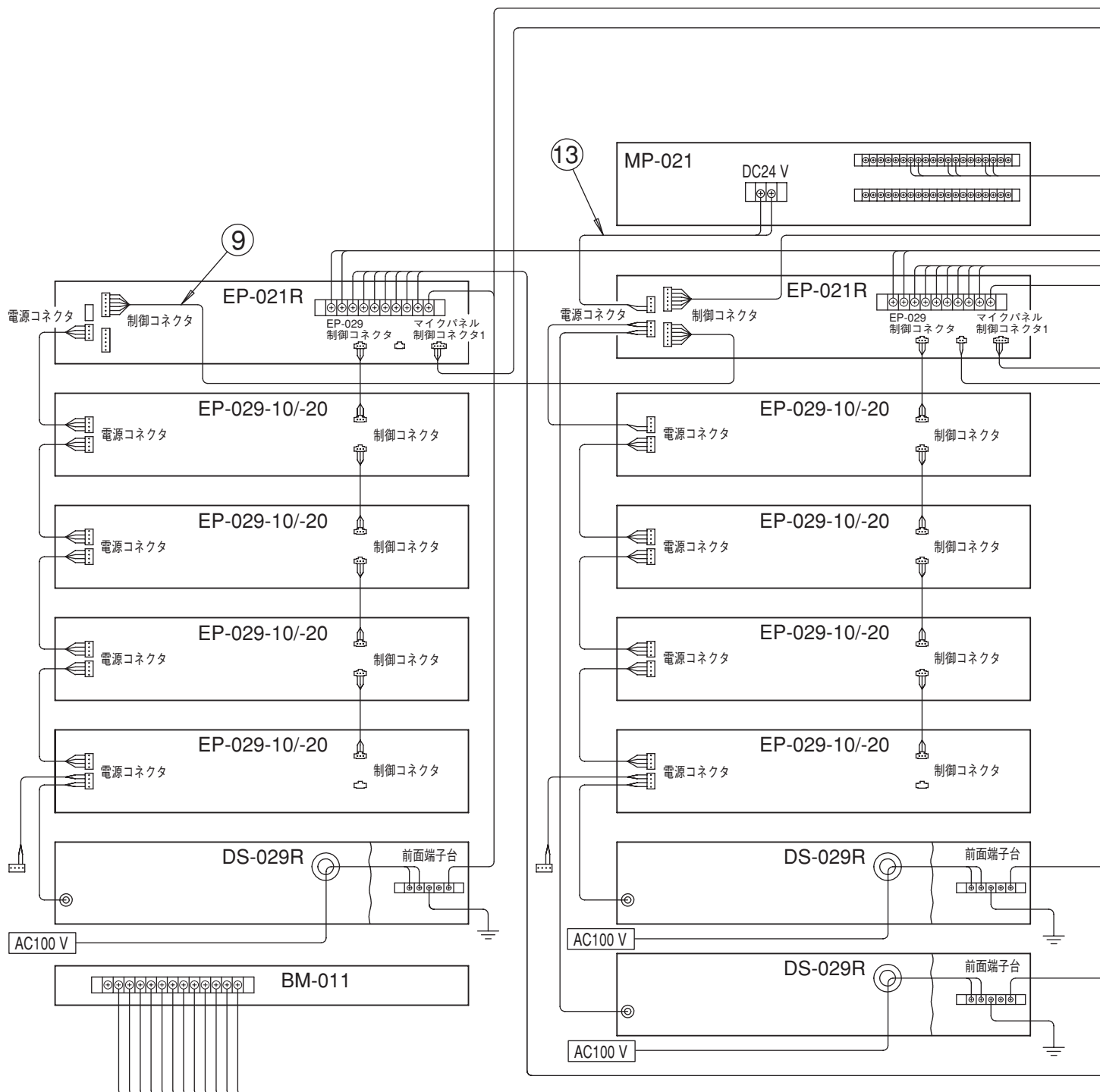
■ 接続例2（3棟の場合）

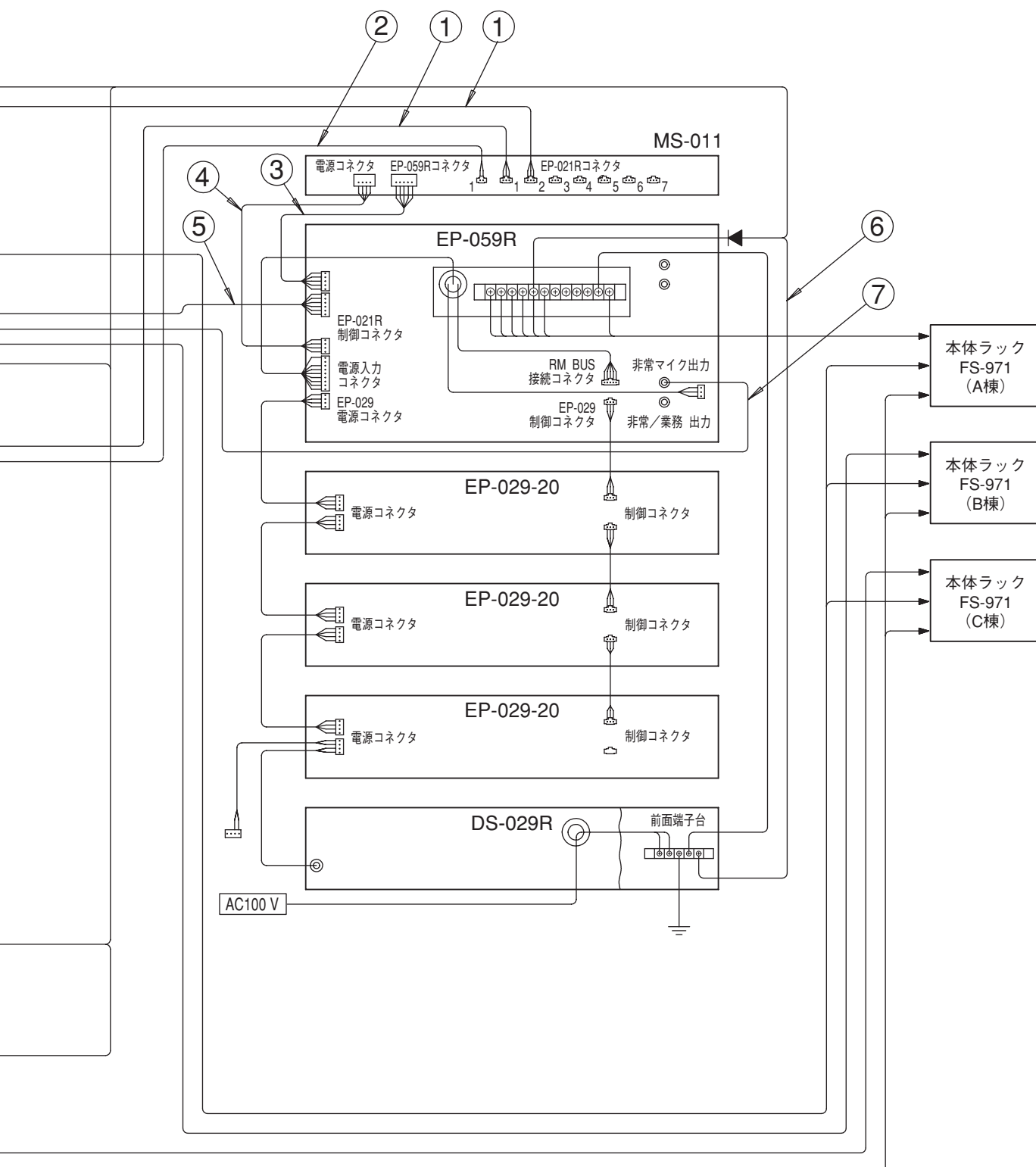
● 外観



● 接続

①～⑦と⑨は、付属ケーブルです。(P.14 参照)
⑬は、別売ケーブルです。





設 定

■ 設定の必要な機種と設定内容

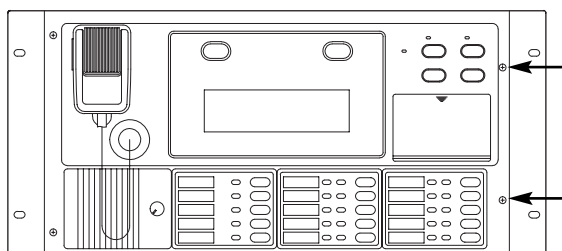
設定を行う前に電源がOFFになっていることを確認してください。

EP-059R	・アドレス設定 ・リモコンモード設定 ・EP-029接続台数設定 ・内部ジャンパー設定
EP-021R	・アドレス設定 ・EP-029接続台数設定
EP-029	・アドレス設定

※ 以上の設定が終了しましたら、各本体ラックのEP-0510の非常リモコン設定がされていることを確認してください。

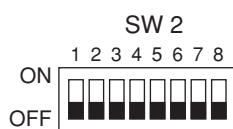
■ EP-059R の設定

操作パネルの矢印のねじ2本（下図）を外して扉を開いてください。

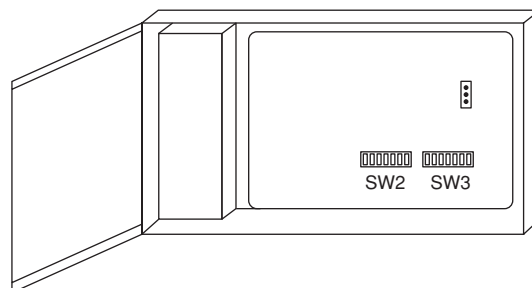
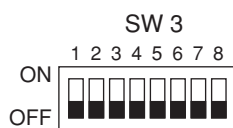


内部の基板上にあるディップスイッチ（SW2, SW3）で設定します。

SW2	
#	設定機能
1～4	EP-029 シフトスイッチ
5	常時OFF
6～8	EP-059R アドレス

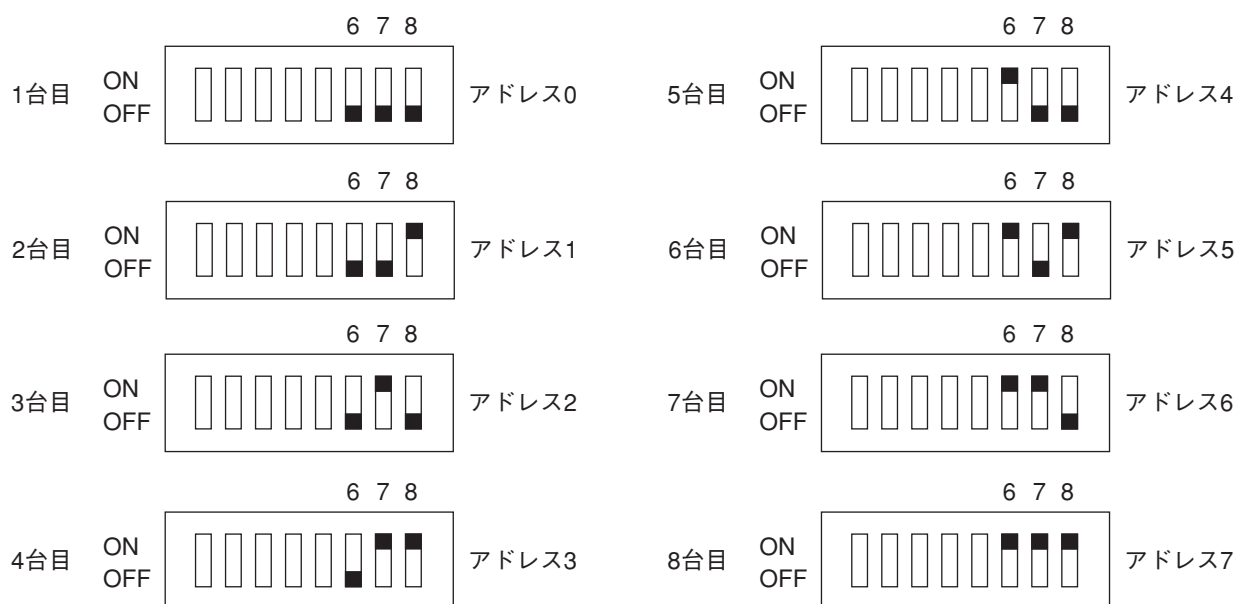


SW3	
#	設定機能
1	リモコンモード
2	常時OFF
3	EP-029 シフトスイッチ
4～8	EP-029 接続台数



● アドレス設定

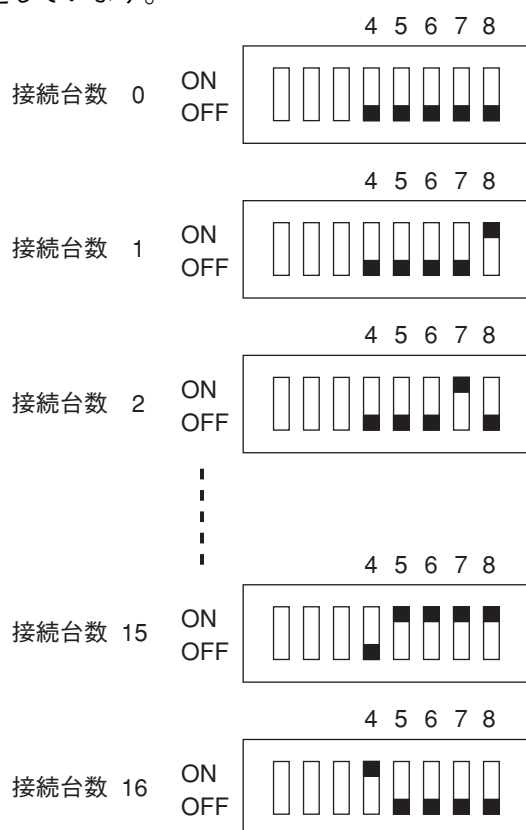
遠隔操作器のアドレス設定は、SW2の# 6、# 7、# 8のスイッチで設定します。
 遠隔操作器が1台のみの場合はアドレス“0”に設定してください。
 工場出荷時にはアドレス“0”に設定しています。



※ 接続している増設操作パネルの局数（10局または20局）による設定時の区別はありません。

● 増設操作パネル EP-029 の接続台数の設定

増設操作パネルの接続台数の設定は、SW3の# 4、# 5、# 6、# 7、# 8のスイッチで設定します。
 工場出荷時には台数“0”に設定しています。



● リモコン（遠隔操作器）モードの設定

リモコンモードの設定は、SW3の#1のスイッチで設定します。
RM-975型の場合は、リモコンモードを“集中非常（ON）”に設定します。

● 音声ガイドの設定

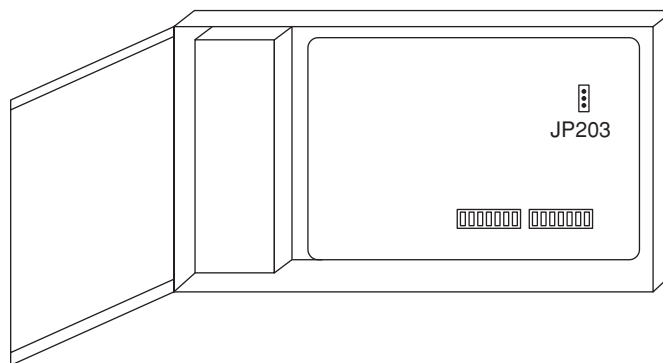
RM-975型の場合は、このスイッチ（SW3の#2）は無効になります。工場出荷状態（OFF）のままにしておいてください。

● シフトスイッチの設定

RM-975型の場合は、シフトスイッチを使用しての設定はできません。
SW3の#3を必ずOFFにしておいてください。（SW2の#1～4はON / OFF どちらの位置でも可）

● ジャンパーの設定

内部の基板上にあるJP203を上側に差し替えます。

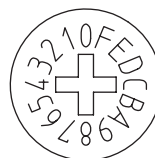
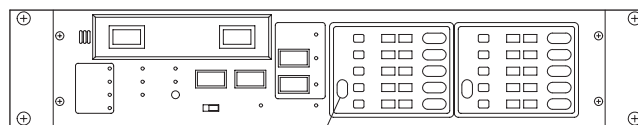


■ EP-021R の設定

● アドレス設定

遠隔操作器のアドレスは“EP-021R アドレス設定スイッチ”で設定します。
スイッチはEP-021Rの左側の書き込みカードの下にあります（下図参照）。
時計用ドライバ等で設定してください。

- | | | | |
|-----|---|--------|---|
| 1台目 | … | アドレス番号 | 0 |
| 2台目 | … | アドレス番号 | 1 |
| 3台目 | … | アドレス番号 | 2 |
| | | | } |
| 7台目 | … | アドレス番号 | 6 |
| 8台目 | … | アドレス番号 | 7 |



EP-021R
アドレス設定

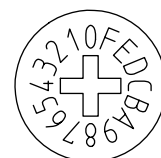
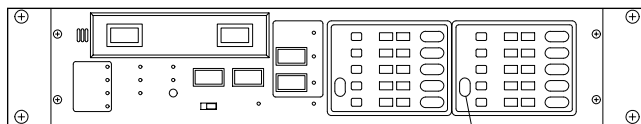
● 増設操作パネル台数設定

遠隔操作器に接続されている増設操作パネル EP-029 の台数設定は“増設操作パネル台数設定スイッチ”で行ないます。

スイッチは EP-021R の右側の書き込みカードの下にあります（下図参照）。

時計用ドライバ等で設定してください。

操作パネル台数	0	…	スイッチ番号	0
操作パネル台数	1	…	スイッチ番号	1
操作パネル台数	2	…	スイッチ番号	2
}				
操作パネル台数	9	…	スイッチ番号	9
操作パネル台数	10	…	スイッチ番号	A
}				
操作パネル台数	15	…	スイッチ番号	F



増設操作パネル
台数設定

※ 接続されている増設操作パネルの局数（10局または20局）による設定時の区別はありません。

※ EP-021R に接続できる増設操作パネルは 15 台までです。（EP-059R は 16 台まで）

■ EP-029 の設定

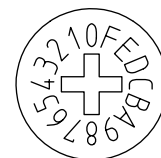
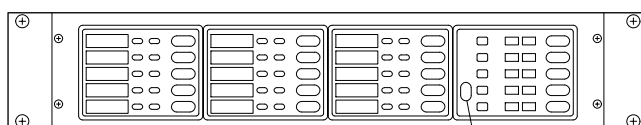
● アドレス設定

増設操作パネルのアドレスは“増設操作パネルアドレス設定スイッチ”で設定します。

スイッチは EP-029 の右側の書き込みカードの下にあります（下図参照）。

時計用ドライバ等で設定してください。

1 台目	…	アドレス番号	0
2 台目	…	アドレス番号	1
3 台目	…	アドレス番号	2
}			
12 台目	…	アドレス番号	A
}			
16 台目	…	アドレス番号	F



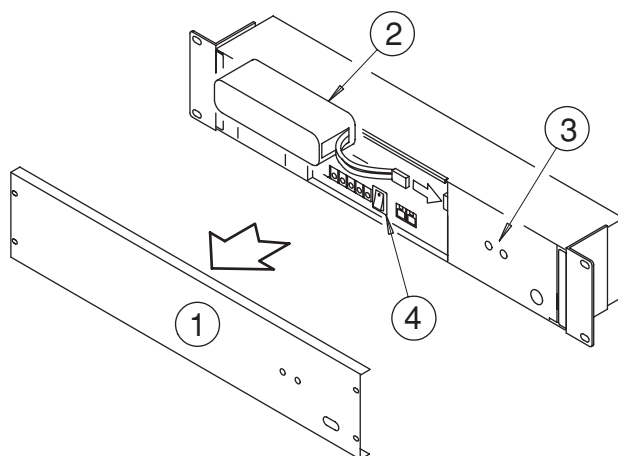
増設操作パネル
アドレス設定

※ EP-021R に接続できる EP-029 は 15 台（アドレス番号 E）までです。

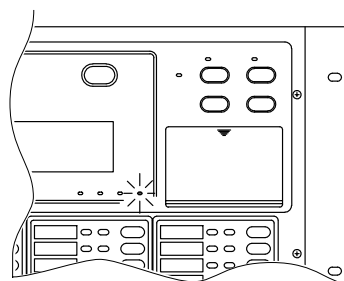
動作の確認

■ 電源の投入

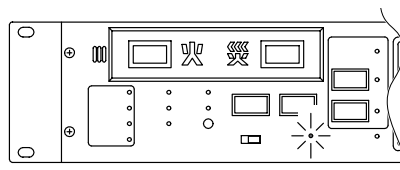
- DS-029R の前面パネル①を取り外し、NDC-2405 ②を接続します。
→ 非常電源表示灯（③の右）が点灯します。
- 電源スイッチ④を「入」にします。
→ DS-029R の非常電源表示灯（③の右）が消灯し、
充電中表示灯（③の左）が点灯します。



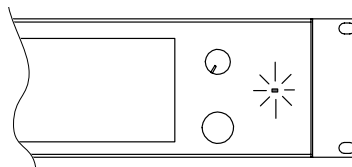
- 以下の確認をします。
 - ・ EP-059R の主電源表示灯（緑）が点灯します。



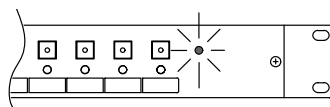
- ・ EP-021R の電源表示灯（緑）が点灯します。



- ・ MP-021 の電源表示灯（緑）が点灯します。



- ・ MS-011 の電源表示灯（緑）が点灯します。



※ 表示灯が点灯しない場合は、電源の接続を確認してください。

EP-059R に通信異常の表示が出た場合や、EP-021R の通信異常表示灯が点灯した場合は DS-029R の電源スイッチを「切」にして以下を確認してください。

- ・ 本体ラックの電源が入っているか。
- ・ 本体ラックの EP-0510 の非常リモコン台数が正しく設定されているか。
- ・ ケーブル（特に RM バス）の配線、接続は正しくされているか。
- ・ アドレス設定は正しいか。

以上の確認が終了しましたら再度 DS-029R の電源スイッチを「入」にしてください。

本体 EP-0510 と EP-059R ・ EP-021R の RM バスの通信が正しい場合は EP-059R ・ EP-021R の連動／連動一斉ランプが点灯します。

■ 動作の確認

各棟ごとに以下の動作を確認します。

● EP-059R の確認

非常起動スイッチ①を押します。

→ その棟に対応する MS-011 の放送要求表示灯②と放送入／切表示灯③が点灯します。

(その他の棟の表示灯は消灯しています)

→ 火災灯④が点灯します。



一斉放送スイッチ⑤を押します。

→ 発報放送が開始し、その棟に対応する MP-021 の出力レベル表示灯⑥がふれます。また、そのチャンネルにセクタを合わせると MP-021 のモニタスピーカから発報放送が出力されます。



非常・業務マイクのトークスイッチ⑦を押し、マイク放送をします。

→ MP-021 の出力レベル表示灯⑥がふれ、放送内容が MP-021 のモニタスピーカから出力されます。



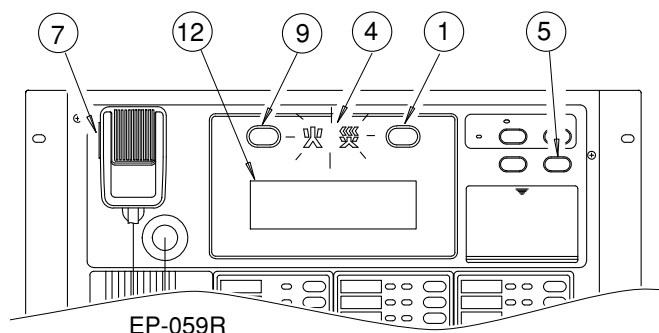
MS-011 の一斉復旧スイッチ⑧を押します。

→ MS-011 の放送入／切表示灯③が消灯し、マイク放送ができなくなります。

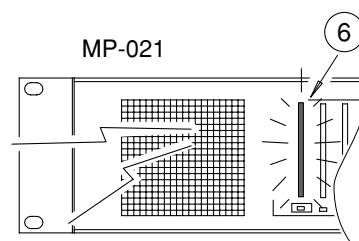


EP-059R の非常復旧スイッチ⑨を押す。

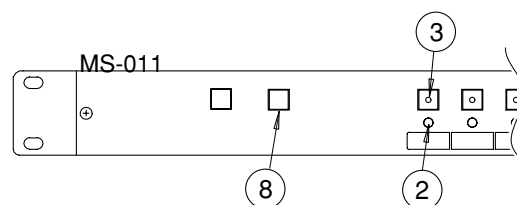
→ すべての状態が復旧します。



EP-059R



MP-021

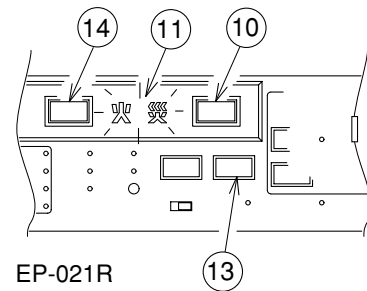


MS-011

● EP-021R の確認

EP-021R の非常起動スイッチ⑩を押します。

- その棟に対応する MS-011 の放送要求表示灯②と放送入／切表示灯③が点灯します。
(その他の棟の表示灯は消灯しています)
- 火災灯⑪が点灯します。
- EP-059R の LCD (液晶画面) ⑫が点灯し、表示が出ます。



EP-021R の一斉スイッチ⑬を押します。

- 発報放送が開始し、その棟に対応する MP-021 の出力レベル表示灯⑥がふれる。また、そのチャンネルにセクタを合わせると MP-021 のモニタスピーカから発報放送が出力されます。



非常・業務マイクのトークスイッチ⑦を押し、マイク放送をします。

- MP-021 の出力レベル表示灯⑥がふれ、放送内容が MP-021 のモニタスピーカから出力されます。



MS-011 の一斉復旧スイッチ⑧を押します。

- MS-011 の放送入／切表示灯③が消灯し、マイク放送ができなくなります。



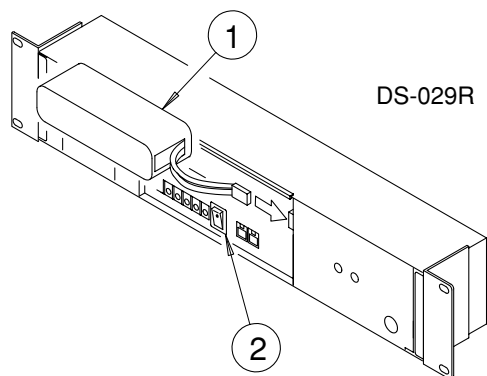
EP-021R の非常復旧スイッチ⑭を押す。

- すべての状態が復旧します。

※ 残りの EP-021R も同様に確認します。

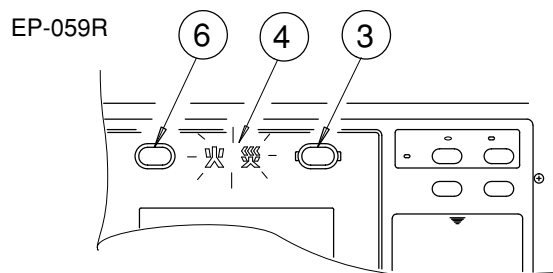
● 停電時の動作確認

DS-029R に NDC-2405 ① が接続されていることを確認し、電源スイッチ②を「切」にしてください。

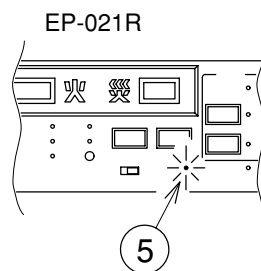


EP-059R の非常起動スイッチ③を押します。

→ EP-059R の火災灯④が点灯します。



→ すべての EP-021R の電源表示灯⑤が点灯します。



EP-059R の非常復旧スイッチ⑥を押します。

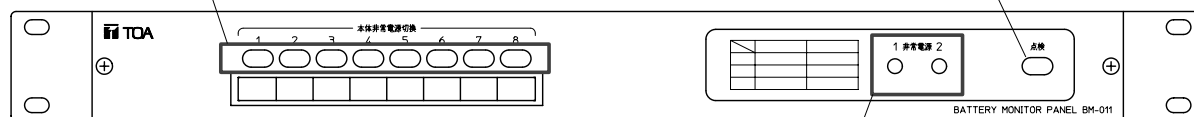
→ すべての状態が復旧します。

● BM-011 による本体非常電源の確認

1. スイッチを押し、本体の非常電源を選択する。

2. 蓄電池の点検ボタンを押す。

ご注意 10秒以上押さないでください。



3. 蓄電池の点検ボタンを押したときに点灯することを確認する。

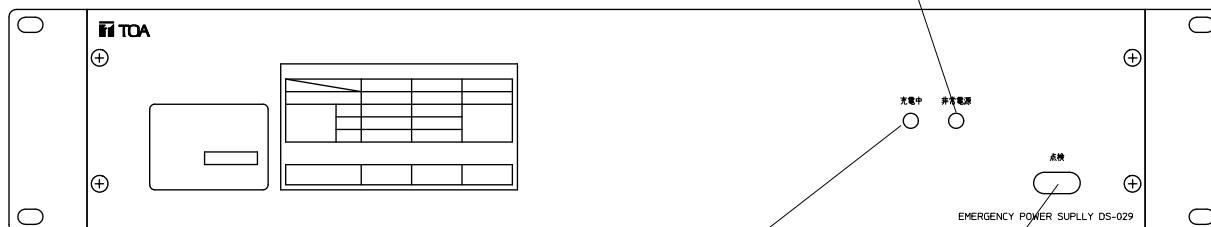
※ 本体の非常電源内の蓄電池が接続されていないと、非常電源表示灯は点灯しません。

蓄電池を1台だけ接続しているときは、非常電源表示灯の点灯も1つだけとなります。

※ 上記の点検作業は、接続されているすべての本体の非常電源について実施してください。

● DS-029R による電源電圧の確認

1. 点灯していることを確認する。



2. 蓄電池の点検ボタンを押す。

ご注意 10秒以上押さないでください。

3. 蓄電池の点検ボタンを押したときに点灯することを確認する。

※ 蓄電池が接続されていないとき、非常電源表示灯は点灯しません。



TOA お客様相談センター	
商品の内容・組み合わせ・取り扱い方法や修理に関するご相談にお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)	フリーダイヤル 0120-108-117 ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。

商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>

133-21-348-1F